

卒業必修		保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 音楽Ⅰ ナンバリング：2325		教員の免許状／保育士資格 取得のための必修科目	単位数：1単位 (半期) 演習	担当教員名：小澤俊太郎、 瀬戸奏、浅見彩賀、小川勝輪、 田口琴己、野本裕美子、 担当形態：クラス分け、オムニバス
科目／系列		大学が独自に設定する科目／保育の内容・方法に関する科目		
施行規則に定める科目区分又は事項等 ／教科目				
授業の到達目標及びテーマ 1. 季節の歌(春・夏)の必修課題曲の弾き歌いができる。 2. (ピアノ初心者) バイエル75番以上、(ピアノ経験者) 3曲以上の楽曲を弾くことができる。 3. 基礎的な楽典を説明できる。				
授業の概要 1. 合同授業 音楽の基礎となる楽典を学び、保育、幼児教育で使用する歌唱曲(童謡、遊び歌など)を習得する。 2. 個人レッスン 幼児教育、保育現場で必要とされるピアノ演奏の基礎技術と知識の習得を目指す。学生一人一人のレベル、能力に合わせてマンツーマンでレッスンを行う。				
授業計画 授業90分のうち、45分を合同授業(担当：瀬戸)、 45分を4クラスに分けて個人レッスン(担当：小澤、浅見、小川、田口、野本) 〈合同授業〉 第1回：オリエンテーション 第2回：楽典① 楽譜の基礎(五線・音部記号・小節線) 第3回：楽典② 音名、音符・休符の種類 第4回：楽典③ 拍と拍子の種類① 第5回：楽典④ 拍と拍子の種類② 第6回：楽典⑤ 調号と音階 第7回：「子どもの歌」弾き歌い(季節の歌ー春) 歌詞の理解 第8回：「子どもの歌」弾き歌い(季節の歌ー春) 歌い方の指導 第9回：手遊び・指遊び 教員による提示と個人練習 第10回：手遊び・指遊び 2人組に分かれての練習 第11回：「子どもの歌」弾き歌い(季節の歌ー夏) 歌詞の理解 第12回：「子どもの歌」弾き歌い(季節の歌ー夏) 歌い方の指導 第13回：「子どもの歌」弾き歌いのまとめ 春・夏の歌の復習 第14回：「子どもの歌」弾き歌いのまとめ 小テスト 第15回：「子どもの歌」弾き歌いテスト 定期試験：筆記・実技 〈個人レッスン〉 第1回：オリエンテーション 第2回～第15回：マンツーマンによるレッスン			授業時間外の学習 〈合同授業〉 課題の楽典ワークの学習(1時間) 課題の楽典ワークの学習(1時間) 課題の楽典ワークの学習(1時間) 課題の楽典ワークの学習(1時間) 課題の楽典ワークの学習(1時間) 「子どもの歌」弾き歌いの練習(1時間) 「子どもの歌」弾き歌いの練習(1時間) 手遊び・指遊びの練習(1時間) 手遊び・指遊びの練習(1時間) 「子どもの歌」弾き歌いの練習(1時間) 「子どもの歌」弾き歌いの練習(1時間) 「子どもの歌」弾き歌いの練習(1時間) 「子どもの歌」弾き歌いの練習(1時間) 試験の準備と練習(1時間) 〈個人レッスン〉 毎回のレッスンで課題となった曲の練習(1日15分以上、1週間に合計1時間以上)	
授業の方法 合同授業と個人レッスン(ピアノ実技指導)。合同授業では課題を行いフィードバック。個人レッスンでは一人ひとりの進捗、練習に合わせてフィードバック。				
テキスト 個人レッスン 初級者は『バイエル』 既習者はレベルに合わせて選曲 合同授業 『改訂 学生のためのコールユーブンゲンとコンコーネ』教芸音楽研究グループ編 教育芸術社 『こどものうた100』小林美実監修 チャイルド社				
参考書・参考資料等 個人レッスンでは個人のレベルに合わせた曲を紹介する。				
学生に対する評価 合同授業内での必修課題曲のマスター(30%)、小テスト(10%) 個人レッスンの受講態度(受講上の注意を守る)(20%)、 個人レッスンの課題の習熟度(個人カルテ配布)と実技試験(40%) ※ルーブリック評価表を学生が確認できるように開示し、それに基づいて評価を行う。				
履修上の注意 自己学習の予習、復習が大変重要である。 特に、今までにピアノ学習経験のない学生は努力する必要がある。				
実務経験の有無	有	実務経験	ピアノ講師	
実務経験を活かした教育内容 ピアノ講師の経験を活かし、各学生の能力に添って指導できるよう授業を行う。				